

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

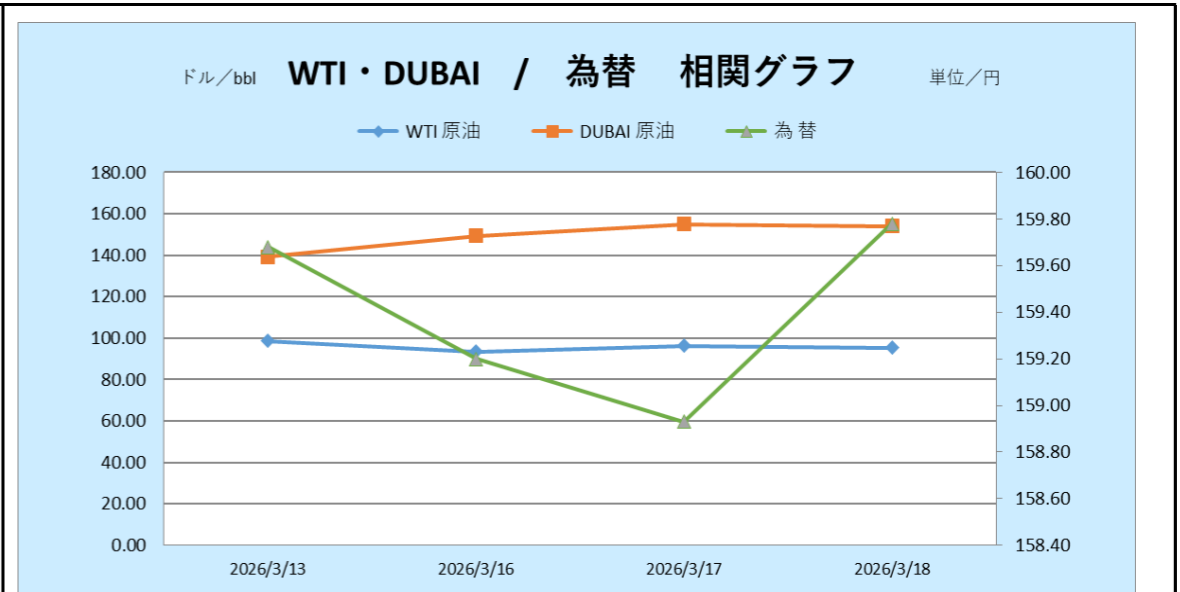
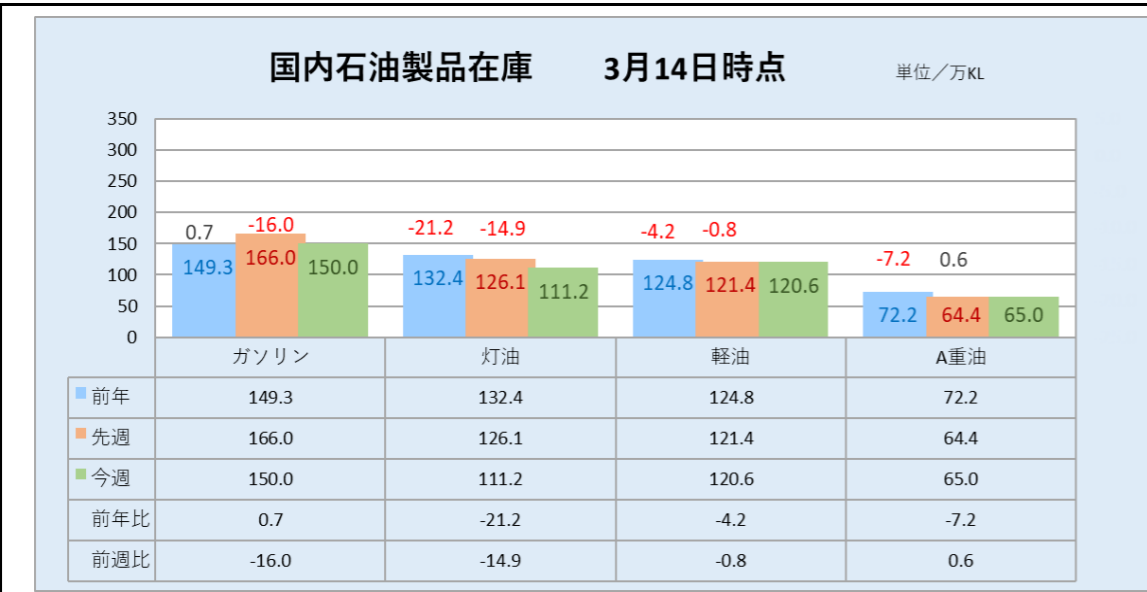
●13日のWTI原油は、前日比2.98ドル高の98.71ドルとなった。  
米イスラエル両軍による対イラン軍事作戦は13日も続いた。イスラエル軍は同日、イラン西部と中部でミサイル発射装置や兵器製造拠点など200超の標的を過去1日で攻撃したと公表。一方で、イランの新しい最高指導者モジタバ・ハメネイ師は12日、就任後初の声明を出し、徹底抗戦を誓ったほか、原油輸送の要衝ホルムズ海峡について「封鎖の手段は使い続けなければならない」と表明した。

●16日のWTI原油は、前日比5.21ドル安の93.50ドルとなった。  
米軍は13日、ペルシャ湾北部に位置するイラン最大の原油積み出し拠点「カーク島」を空爆。ベセント米財務長官が朝方、CNBCテレビのインタビューで、米国が世界の原油供給確保の観点から、イランのタンカーのホルムズ海峡通過を認めていると発言したことをきっかけに、下げ幅が拡大。

●17日のWTI原油は、前日比2.71ドル高の96.21ドルとなった。  
イスラエル軍は17日、イランで外交や国防を統括する最高安全保障委員会のラリジャニ事務局長を殺害したと発表。前最高指導者アリ・ハメネイ師の排除後、ラリジャニ氏が「事実上の指導者」だったと指摘した。

●18日のWTI原油は、前日比0.11ドル高の96.32ドルとなった。  
イランのメディアは18日、同国南部ブシェール州の主要天然ガス施設が飛翔(ひしょう)体による攻撃を受けたと報道した。イランはこれまでに「イランの原油やエネルギー施設を攻撃すれば、米国に協力する中東全域の全てのエネルギー施設を破壊する」と警告。

2026/3/19 12:00現在 WTI原油 96.1ドル 為替 1ドル 160.88円



【次回価格変動予想】

3/26~4/1

【市況総括】

ガソリン	→	-0.2 ~ 0.3
灯油	→	-0.2 ~ 0.3
軽油	→	-0.2 ~ 0.3
A重油	→	-0.2 ~ 0.3
LSA	→	-0.2 ~ 0.3

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「+9.5円」、補助金支給額は、ガソリン/灯油/重油「30.2円」軽油「47.3円」。都合、ガソリン/軽油「-20.7円」、灯油/重油「-15.7円」の大幅な下げ改定となった。

《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「+12.5円~+13.0円」、補助金は「+12.7円」(ガソリン全国平均170円)で、都合「-0.2円~+0.3円」の改定予測となっている。

※原油コスト「+12.5円~+13.0円」  
 ※補助金 前週比+12.7円  
 ※ガソリン全国平均「170円」  
 ※現時点での予測です。

【次世代エネコラム】

＜ 東邦ガス、脱炭素ガス 40年度40%に eメタンなど活用 ＞

東邦ガスは6日、2040年度に販売するガスのうち水素と二酸化炭素(CO2)からつくる合成メタン「eメタン」やバイオガスといった脱炭素ガスの比率を40%をメドとすると発表した。電気も太陽光など再生可能エネルギーの活用を進め、脱炭素比率を50%とする。東邦ガスの企業活動全体で削減するCO2の数量も、20年度から500万トン増やす計画だ。

東邦ガスは21年に30年度におけるガスの脱炭素化比率を5%以上にする目標を掲げていた。今回は脱炭素に向けたロードマップを更新し、40年度までの計画と目標値を示した。50年度までに企業全体のカーボンニュートラルを目指す。

ガスではeメタンを30年度から本格導入する考え。25年末には大阪ガスや伊藤忠商事などと米国からeメタンを輸入するための調査を始めると発表した。現地企業などが中西部ネブラスカ州で進める世界最大級の製造事業に参画する。バイオガスでもバイオガスの展開に向け北米や東南アジアでの開発を進める。

電力では太陽光発電のほか、風力やバイオマスなど幅広い電源の確保を進める。29年度には、火力最大手のJERAと共同で手掛ける知多火力発電所7、8号機(愛知県知多市)が稼働する。30年代半ばから同発電所における水素の活用を進め、将来的にはCO2排出をゼロにすることを目標とする。